

2016年40周年



にこにこ元気、 ミラノっ子

あなたの
わたしの

「よいこ」さがし、「がんばる」さがし

【五つのしおり】

- ◎ 気持ちのよいあいさつをします。
- はっきり伝え合う言葉づかいをします。
- 身の回りをきれいにします。
- 時間を守ります。
- 自分の役割を果たします。

学校の勉強

校長 篠崎 厚子

6月半ばから、教員は月末の中学期末考査の問題作りを始めていました。作成し終わると、教務・校務主任の点検があります。皆様ご存じの通り、在外教育施設である日本人学校には、全教科に専科担任がいるわけではありません。専門外の教科も受けもつのは当然のことです。そして、小学校籍である教員が中学校の教科を指導することも当然。従って、教材研究は国内以上に注意を払い、子供たちの学習定着の様子をみるテスト作りは尚更です。最終的に問題と解答が私の手元にくるのですが、私も問題を見ながら解答と解答用紙を確かめます。その一連の作業の中で、私が毎回つくづく感じることは、「中学校」で子供たちが学習する内容の深さと広さです。この三年間の学習を確実に身に付けることができたなら、相当な教養人、知識人、国際人になれるということです。このことは、小学校の学習内容も同じです。（学習は教科だけではありません。学校で学ぶこと全てです。）

期末考査のこの時期、日々の学習の重みを感じました。

☆ミラノ日本人学校の皆さん、先生達と一緒に、学校で一生懸命勉強しましょう！

ようこそ！そして いつまでも！

☆今年度も体験入学の子供たちが、ミラノ日本人学校に来ました。皆どきどきしながら本校での初日を迎えたことと思います。この学校での楽しい思い出をつくり、このご縁が長く続くようにと願います。

イタリアに住み続ける子供たちには日本を、日本に戻る子供たちにはイタリアを、“過去”にせぬよう、指導していきます。

☆ 宝生流「能」ワークショップ

明日1日、お能の宝生流20世ご宗家 宝生 和英（ほうしょう かずふさ）様のご厚意で、お能のワークショップを開催できることになりました。子供たちに様々な体験をと、常々願っておりましたところ、本校保護者の方より嬉しいお話が入りました。

また、ご縁だったので、日本在住の本校創立時の卒業生からも、同時にお話が、学校に届きました。

「能」。小学校高学年教科書に狂言がありますが、日本国内でも、能にしても狂言にしても鑑賞の機会をもつことは中々難しいことです。そのワークショップです。加えて、ご宗家直々のワークショップです。恐らく、地の利の良い国内の学校においても、望めない機会です。

保護者の皆様、是非御来校ください。

7月の行事予定

- 1日(金) 中学部期末考査(終了)
宝生流ワークショップ 13:45～全学年
- 6日(水)～8日(金)
アラーニャ宿泊体験学習
小5年生～中3年生
- 11日(月) 図書ボランティア読み聞かせ
(開始)
アクションの日(縦割り)
委員会
- 19日(火)～21日(木)
個人懇談・三者面談
- 22日(金) 終業式・お別れ会
大掃除



9月1日(木) 始業式